

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成 28 年5月分)について

(1) 問い合わせ件数

平成28年5月 1 日～平成28年5月30日 64 件
(うち、放射性物質関連 1 件)

(2) 内訳

項目	件数	主な内容
① 食品安全委員会関係	6 件	
委員会	0 件	
リスクコミュニケーション	6 件	出版物関連(3 件)、メルマガ、HP掲載資料、原稿執筆依頼
基本法	0 件	
② 食品健康影響評価関係	16 件	
評価全般	0 件	
化学物質系	13 件	食品添加物(4 件)、亜硝酸窒素(4 件)、アクリルアミド(2 件)、メチル水銀、農薬、トランス脂肪酸
生物系	2 件	リステリア菌、ウエルシュ菌
新食品	1 件	大豆イソフラボン
BSE 等	0 件	
その他	1 件	放射性物質
③ 食品一般(リスク管理等)関係	39 件	
化学物質系	9 件	食品添加物(5 件)、農薬(3 件)、動物用医薬品
生物系	4 件	かび毒(2 件)、E型肝炎ウィルス、寄生虫
新食品	5 件	健康食品(5 件)
BSE 等	0 件	
衛生関係	14 件	安全性(6 件)、衛生管理(3 件)、輸入食品(2 件)、食中毒、品質、異味
食品表示関係	5 件	原料原産地表示、期限表示、添加物表示、外食表示、食品表示全般
その他	2 件	放射線照射、他
④ その他	2 件	

(3) 主な質問とその回答

○リスク評価関係

【人工甘味料】

糖質ゼロを売りにしている数多くの飲料やダイエット食品に多くの人工甘味料が使われている。この物質は体に悪いと聞いた。安全性はどうなっているのか。

人体に危険を及ぼす可能性がある摂取量がわかっていれば教えてほしい。

⇒ 人工甘味料として近年使われているものとしては、アスパルテーム、アセスルファムK、アドバンテームなどがある。これらの人工甘味料は日本や欧米などで人の健康への影響を評価しており、各国で使用が認められている食品添加物である。

これらの物質は一生涯にわたって毎日摂取し続けても健康への悪影響がないと推定される一日摂取許容量（ADI）が設定されており、アスパルテームは JECFA（FAO/WHO 合同添加物専門家会議）において 0～40mg/kg体重/日、アセスルファムKは JECFA において 0～15mg/kg体重/日、アドバンテームは食品安全委員会において 5.0mg/kg体重/日となっている。これを踏まえ厚生労働省が食品添加物として使用できる食品や使用量の最大限の使用基準を定めている。

食品添加物は通常の食事から摂る量では健康影響の出ないようにリスク管理されており、実際に摂取している量は極めてわずかなので心配する必要はない。

ちなみに、厚生労働省では食品添加物について日本人の平均的な一日摂取量の調査（参考3）を行っている。それによれば、アスパルテームの一日摂取量は一日摂取許容量（ADI）の 0.001%、アセスルファムKについては同じく 0.27%である。

【参考情報】

参考1：評価結果【食品安全委員会ホームページ】

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20030701013>

参考2：添加物使用基準【厚生労働省ホームページ】

<http://www.ffcr.or.jp/zaidan/MHWinfo.nsf/a11c0985ea3cb14b492567ec002041df/980837ba5d9b0d28492575d6000785e6?OpenDocument>

参考3：一日摂取量の調査（甘味料）【厚生労働省ホームページ】

[http://www.ffcr.or.jp/zaidan/FFCRHOME.nsf/pages/PDF/\\$FILE/DI-studyH23.pdf](http://www.ffcr.or.jp/zaidan/FFCRHOME.nsf/pages/PDF/$FILE/DI-studyH23.pdf)

参考4：食品添加物 よくある質問（消費者向け）【厚生労働省ホームページ】

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuten/qa_shohisya.html